

研究教育業績（過去5年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) Murai Y., Suzuki M., Sugawara M., Tatsumi H., Miyakawa M., Low Vision Aid through Laser Retina Imaging - Toward Building Eyesight-Aid -, 2016 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics, October, Budapest (2016).
- 2) Murai Y., Tatsumi H., Sekita I., Miyakawa M., Touch Tracking Analysis for Graphics Image Acquisition by the Visually Impaired - Toward Understanding Graphical Image Creation by Touch-Sensing -, 2016 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics, October, Budapest (2016).
- 3) Tatsumi H., Murai Y., Sekita I., Miyakawa M., Synchronization and Sharing Information of Tactile Map with Online Map, 2015 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics, October, Hongkong (2015).
- 4) Tatsumi H., Murai Y., Sekita I., Tokumasu S., Miyakawa M., Cane Walk in the Virtual Reality Space using Virtual Haptic Sensing, 2015 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics, October, Hongkong (2015).
- 5) Suzuki T., Araki T., Kawai K., Murai Y., Tatsumi H., On a Learning-Science System Supporting Visually Impaired Students via the Haptic Device, 2013 IEEE International Conference on System, Man, and Cybernetics, October, London (2013).

[国内学会]

- 1) 村井保之, 巽久行, 宮川 正, 視覚障害者の触指位置追跡による図形イメージ分析, ヒューマンインタフェースシンポジウム 2017, 9月, 大阪 (2017).
- 2) 巽久行, 村井保之, 関田巖, 宮川 正, 視知や触知の向上による視覚障害者のオブジェクト認識支援, ヒューマンインタフェースシンポジウム 2017, 9月, 大阪 (2017).
- 3) 巽久行, 村井保之, 小林真, 宮川 正, 視覚障害者のための音響ペンによる手書き支援の考察, ヒューマンインタフェースシンポジウム 2017, 9月, 大阪 (2017).
- 4) 村井保之, 巽久行, 宮川 正, 触図の触指位置記録と触知情報分析, 第16回情報科学技術フォーラム(FIT2017), 9月, 東京 (2017).
- 5) 巽久行, 村井保之, 関田巖, 宮川 正, 音響ペンによる視覚障害者の書筆位置追跡の実験, 第16回情報科学技術フォーラム(FIT2017), 9月, 東京 (2017).
- 6) 村井保之, 巽久行, 宮川 正, 視覚障害者の触指位置記録と分析方法の検討, 福祉情報工学研究会(WIT2017), 3月, 茨城 (2018).
- 7) 巽久行, 村井保之, 小林真, 宮川 正, 擬似音響を用いた書筆追跡による視覚障害者のための手書き支援, 福祉情報工学研究会(WIT2017), 3月, 茨城 (2018).
- 8) 村井 保之, 巽 久行, 徳増 眞司, 宮川 正弘: 視覚障害者の図形イメージ生成過程の分析. 第15回情報科学技術フォーラム(FIT2016), 9月, 富山(2016).

- 9) 巽 久行, 村井 保之, 関田 巖, 宮川 正弘: 視覚障害者のための音響ペンの提案. 第 15 情報科学技術フォーラム(FIT2016), 9 月, 富山(2016).
- 10) 村井 保之, 鈴木 誠, 菅原 充, 巽 久行, 宮川 正弘: レーザ網膜走査型HMDによる弱視の視認支援への検討. 第 28 回多値論理とその応用研究会, 1 月, 沖縄(2015).
- 11) 巽 久行, 村井 保之, 宮川 正弘: 視覚障がい補償のための触指位置の検出と情報共有. 第 28 回多値論理とその応用研究会, 1 月, 沖縄(2015).
- 12) 村井 保之, 鈴木 誠, 菅原 充, 巽 久行, 宮川 正弘: レーザ網膜作像による弱視支援 ~ 補視器の開発を目指して ~. 第 78 回福祉情報工学研究会(WIT), 1 月, 筑波(2015).
- 13) 巽 久行, 村井 保之, 関田 巖, 宮川 正弘: 図形触知過程における触指位置の軌跡図の作成 ~ 触知による図形イメージ生成の解明を目指して ~. 第 78 回福祉情報工学研究会(WIT), 1 月, 筑波(2015).
- 14) 村井 保之, 巽 久行, 徳増 眞司, 宮川 正弘: 弱視者の視認を支援する HMD(補視器) のフィッティング手法の開発. 第 14 情報科学技術フォーラム(FIT2015), 9 月, 愛媛(2015).
- 15) 巽 久行, 村井 保之, 福永 克己, 関田 巖, 宮川 正弘: 触指位置追跡による図形イメージ獲得過程の理解. 第 14 情報科学技術フォーラム(FIT2015), 9 月, 愛媛(2015).
- 16) 巽 久行, 村井 保之, 関田 巖, 宮川 正弘: 触知 VR 上での仮想把持感による白杖歩行について. 第 14 情報科学技術フォーラム(FIT2015), 9 月, 愛媛(2015).
- 17) 村井 保之, 巽 久行, 徳増 眞司, 宮川 正弘: 弱視支援を組み入れたヘッドマウントディスプレイの開発. 第 13 情報科学技術フォーラム(FIT2014), 9 月, 筑波(2014).
- 18) 巽 久行, 村井 保之, 関田 巖, 徳増 眞司, 宮川 正弘: 視覚障がい者のためのオンライン地図情報を利用した触地図移動. 第 13 情報科学技術フォーラム(FIT2014), 9 月, 筑波(2014).
- 19) 巽 久行, 村井 保之, 関田 巖, 徳増 眞司, 宮川 正弘: 視覚障がい支援のための仮想触力覚の利用. 第 13 情報科学技術フォーラム(FIT2014), 9 月, 筑波(2014).
- 20) 村井 保之, 巽 久行, 徳増 眞司, 宮川 正弘: 弱視者の視認を支援するヘッドマウントディスプレイの開発. 第 30 回ファジィシステムシンポジウム(FSS2014), 9 月, 高知(2014).
- 21) 巽 久行, 村井 保之, 関田 巖, 徳増 眞司, 宮川 正弘: 仮想白杖把持感の生成 — 視覚障がい者の歩行支援 —. 第 30 回ファジィシステムシンポジウム(FSS2014), 9 月, 高知(2014).
- 22) 巽 久行, 村井 保之, 関田 巖, 徳増 眞司, 宮川 正弘: オンライン地図と情報を共有したナビゲーション触地図の開発. 第 30 回ファジィシステムシンポジウム(FSS2014), 9 月, 高知(2014).
- 23) 村井保之, 巽 久行, Robinson THAMBURAJ, 徳増 眞司, 宮川正弘: 弱視支援を組み入れたヘッドマウントディスプレイの設計. 第 12 回情報科学技術フォーラム(FIT2013), 9 月, 鳥取(2013).
- 24) 巽 久行, 村井保之, 関田 巖, 徳増 眞司, 宮川正弘: 仮想的な触力覚を利用した視覚障がい支援の提案. 第 12 回情報科学技術フォーラム(FIT2013), 9 月, 鳥取(2013).
- 25) 巽 久行, 村井保之, 徳増 眞司, 宮川正弘: 触地図とオンライン地図との情報共有化手法. 第 12 回情報科学技術フォーラム(FIT2013), 9 月, 鳥取(2013).

他 2 件

3. その他特筆すべき研究業績

- 1) 村井保之(代表), 科学研究費補助金基盤 C(文部科学省), 触指位置追跡と触面特徴量による図形イメージの解明, 総額 4,680 千円, (2017-2019).
- 2) 村井保之(代表), 科学研究費補助金基盤 C(文部科学省), ヘッドマウントディスプレイを用いた弱視支援の補視器の開発, 4,940 千円, (2013-2015).

II. 教育業績

1. 担当授業科目

2017年	情報リテラシー	1年(薬学科)
	情報処理演習 I	2年(薬学科)
	情報処理演習 II	2年(薬学科)
	情報リテラシー	1年(医療ビジネス薬科学科)
	コンピュータスキル	1年(医療ビジネス薬科学科)
	医療情報学	3年(医療ビジネス薬科学科)
	卒業研究	4年(医療ビジネス薬科学科)
2016年	情報リテラシー	1年(薬学科)
	情報処理演習 I	2年(薬学科)
	情報処理演習 II	2年(薬学科)
	情報リテラシー	1年(医療ビジネス薬科学科)
	コンピュータスキル	1年(医療ビジネス薬科学科)
	医療情報学	3年(医療ビジネス薬科学科)
	卒業研究	4年(医療ビジネス薬科学科)
2015年	情報リテラシー	1年(薬学科)
	情報処理演習 I	1年(薬学科)
	情報処理演習 II	2年(薬学科)
	情報リテラシー	1年(医療ビジネス薬科学科)
	コンピュータスキル	1年(医療ビジネス薬科学科)
	卒業研究	4年(医療ビジネス薬科学科)
2014年	情報リテラシー	1年(薬学科)
	情報処理演習 I	2年(薬学科)
	情報処理演習 II	2年(薬学科)
	情報リテラシー	1年(医療ビジネス薬科学科)
	コンピュータスキル	1年(医療ビジネス薬科学科)
	医療情報学	2年(医療ビジネス薬科学科)
	卒業研究	4年(医療ビジネス薬科学科)
2013年	情報リテラシー	1年(薬学科)
	情報処理演習 I	2年(薬学科)
	情報処理演習 II	2年(薬学科)
	情報リテラシー	1年(医療ビジネス薬科学科)
	コンピュータスキル	1年(医療ビジネス薬科学科)
	医療情報学	2年(医療ビジネス薬科学科)

2. その他特筆すべき教育業績